

2008 年度

科目名 基礎ゼミⅡ	対象学科・学年 文学部日文2回生	担当者 浅尾 広良
授業テーマ 『竹取物語』と〈異境〉を考える		
授業の概要と目標 『竹取物語』は月の都（異境）から「かぐや姫」がやってくる話です。浦島説話は、この世の人である「浦島」が蓬莱の国（異境）に行く話です。このように、日本の昔話や物語には〈異境〉との関わりを描いたものがたくさんあります。このゼミでは、〈異境〉とは何かを考えながら、昔の人が〈異境〉とこの世との関係をどのように捉えていたかを〈言葉〉の意味を深く掘り下げることから考える。		
評価方法 発表（60%）、授業への取り組む姿勢（30%）、出席（10%）を総合して評価する。		
テキスト 『新版・竹取物語』	著者 室伏信助	出版社 角川ソフィア文庫
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 オリエンテーション 「異境」という存在。 2 異人來訪譚の構造① 「羽衣伝説」・「伊香の小江」他 3 異人來訪譚の構造② 『竹取物語』・天人女房他 4 異郷訪問譚の構造① 『日本書紀』『風土記』における浦島伝説 5 異郷訪問譚の構造② 『室町物語草子集』における浦島伝説 6 輪読発表サンプル（発表者 浅尾） 7 個人発表指導① 8 個人発表指導② 9 発表（担当者1・2） 10 発表（担当者3・4） 11 発表（担当者5・6） 12 発表（担当者7・8） 13 発表（担当者9・10） 14 発表（担当者11・12） 15 発表（担当者13・14）		